

第1学年 数学科学習指導案

単元名 3章 方程式（1節 方程式）

本時の展開

（1）目標 方程式及びその中の文字や解の意味を理解できる。

（2）展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考
導入	10分	<p>1 本時のめあてを知る。</p> <p>めあて 「方程式と方程式の解の意味を知ろう」</p> <p>2 課題①について知る。</p> <p>課題① 「1枚ずつ数えずに枚数を知るにはどうすればいいだろう。」</p>		挿絵 ワークシート
展開	35分	<p>3 課題①について考える。</p> <p>自分で</p> <p>班で</p> <p>自分で考えた解法を班のみんなと出し合い、答えを導くために言語活動を設定する。</p> <p>全体で</p> <p>4 課題②について知る。</p> <p>課題② はがきの枚数を x 枚として、等しい関係を等式に表してみよう。</p> <p>5 課題②について考える。</p> <p>自分で ペアで 全体で</p> <p>6 新出語句やその意味の確認をする。</p> <p>まとめ 方程式…まだわかっていない数を表す文字を含む等式 解…方程式を成り立たせる文字の値 方程式を解く…解を求めること</p>	<p>能動型学習</p> <p>◎机間指導を行い自分の考えが浮かんでいない生徒に対しては、ヒントを与え、思考の手助けとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートをもとに自分の考えを班で出し合えるようにする。 班の意見をまとめ、簡易ホワイトボードに書き、全部の班の意見が黒板に出るようにする。 考え方が違う班があったら発表してもらい、全体で共有する。 <p>評価（観点①）【ワークシート】</p> <p>B基準 はがきとトレーの重さの関係から、はがきの枚数を求めようとしている。</p> <p>A基準 はがきとトレーの重さの関係から、はがきの枚数を求めることができています。</p> <p>〈B基準に達しない生徒への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 重さの関係を図や言葉の式で表して整理できるようヒントカードを配付する。 <p>徹底指導</p> <p>◎これまで自分たちが問題を解いてきた過程をもとに「方程式」、「方程式の解」、「方程式を解く」等の語句の意味を理解できるようにする。</p>	<p>簡易ホワイトボード</p> <p>ヒントカード</p> <p>教科書 p 76 問1、 例1、問2</p>
整理	5分	<p>7 本時の振り返りをする。</p> <p>★本時の課題解決の過程を確認しながら本時の学習内容を振り返る</p>		自己評価シート